

2026.7.1
vol.106

かわら版

ご自由に
お持ち帰り下さい

もっといきいき健康に！ 地域がつながる医療と介護を目指して



絵/ザ・キャビンカンパニー

Contents

- 白杵病院看護部の電子カルテを活用した業務改善の取り組み～電子カルテを制する者は、業務を制するPART II～ … 2～3
白杵病院の理念 …… 2 新任医師紹介 …… 3
禪～たすき～ 白杵市医師会立コスモス病院 院長 鈴木 浩輔 氏 …… 4 インフォメーション …… 4

白杵病院看護部 電子カルテを活用した業務改善の取り組み

「電子カルテを制する者は、業務を制するPARTⅡ」

白杵病院連携室看護師 柴田美由記

【新たな役割】

私は今年還暦を迎えるにあたり、管理職を退き連携室所属となりました。同時に看護部のDX担当という新たな役割を任命され、4～5月は週3日みえ病院勤務となり、電子カルテを駆使した業務改善にとりかかりました。

現在の電子カルテは2023年に導入され、準備段階では看護システム内をみえ病院と白杵病院の看護部が作業を分担し、作り上げてきました。しかし、そのシステムをどう使うかという運用ルールを看護部内で決めていなかった事、何ができるシステムなのかという共通認識ができていなかった事で、業務内容に大きな差が出ていることがわかりました。そこで今回は、「アナログ業務の削減」「とにかく小さなことでも削る」「業務を委譲する」の3つの視点で業務改善を開始しました。

【アナログ業務の廃止】

病棟では、様々な一覧表が使用されており、そのほとんどを手入力で作成していました。例えば、食事チェック表という、病室番号・患者氏名・食事摂取量・付加食摂取量を記載する一覧

表があります。食堂や下膳車に置き、摂取量を確認して記入するためのものです。

しかし、患者の入退院や転室・転棟などで情報が入れ替わる事が多く、その都度修正する作業が発生していました。今回の電子カルテ導入時、その一覧表をシステムで作成してもらうよう依頼し、今では2クリック程度で一覧表が出てくるようになりました。それと同様に、システム内には検査一覧、手術一覧、業務分担一覧、患者状態一覧、看護指示一覧など多くの一覧表がありますが、その存在を知らなかった、うまく使えていなかったなどの現状がありました。そこで、業務に合わせて一覧表のレイアウトやマスタを整理し、より活用できるように改善し、アナログ業務の廃止を進めました。

【小さなことを沢山削る】

私達が毎日使う画面に、医師指示や看護指示を実施したかどうか入力する「実施確認」というものがあります。その日予定されている注射・処置・看護ケアなどに対し、実施したら「○」をクリックし「●」に変えるというものです。日時・実施者名がわかるよう

になっていきます。実施しなかった場合はその理由を記載した上で「未実施」とするというのが本来の使い方です。

しかし、日付や曜日指定で行うべきケアや処置に対して、実施予定が毎日設定されていたり、現在行っていない指示が終了されていなかったりすることで「未実施」をクリックする量がとても多い事がわかりました。これは完全に不要な作業です。そこで師長達に協力を得、実施予定日を計画し、実施しない日は画面に情報が載らないよう整備しました。日勤看護師の受け持ち患者数は8人前後です。一患者に対し、1～5個の未実施項目が存在していたのでクリック作業は削減できました。更に、今まで患者に行う何種類もの看護ケアを、一種類につき5回前後クリックして予定入力・登録していましたが、「看護指示セット」という機能を使って何種類ものケアをセット化し、2クリックで一括登録できるようにしました。師長達が自部署に合わせたケアのセットを考え作成し、現場で活用できるようにしました。

その他、一覧表の中には「有」「無」を入力するものもありましたが、「無」を入力しない事をルール化し、入力作

白杵病院の理念



白杵病院 院長
原田 勝久

2026年4月に『白杵病院の理念』を新たに作成し、全てのスタッフと共有し同じ思いを持って今後も地域医療に貢献してまいります。

①地域に根差し必要とされる、かかりつけ病院を目指します

白杵病院は白杵市で唯一の初診で受診できる総合病院です。かかりつけがなく様々な症状で受診された患者様に対して丁寧な話を聞き、当院で可能な検査を行い、当院で可能な治療を提供し、かかりつけ病院になつてほしいと思います。

②患者様やその家族に長く愛される、優しい病院を目指します

どんな患者さんやその家族にも、自分の家族と同じ気持ちで接していきたいと思えます。そうすれば多忙な時やいら立ちを感じた時など自然と優しくなれますし、冷静に対応出来ると思います。そうすることで白杵病院を長く利用して頂けると思います。

③すべての職員が働きやすく、助け合い、向上心のある病院を目指します

処遇改善や働き方改革、多職種連携などの協力体制を継続的に行っています。新入職員や次世代のリーダーの育成も行なっています。また全てのスタッフがそれぞれの分野で成長をしていってほしいと思います。

業を削減しました。

これらは本当に小さい事です、塵も積もれば山となる方式で、削れるところは削らないか目を皿のようにして探り、削っていききました。

【業務の委譲】

看護師じゃなくてもできる業務について検討しました。入院時の印刷物と、患者退院後にカルテに不備がないかチェックする作業を、病棟の看護補助者に委譲することを検討して依頼したところ、気持ちよく引き受けてもらうことができました。

【おまぐせ】

今回この役割を任命され、お互いの病院を行き来した事で、電子カルテ業務全体を俯瞰してみることができました。その中のいくつかは、白枿病院の業務改善にも繋げる事ができました。更に、その他業務についても見直し、改善数は合わせて22項目という結果となりました。時間的にどれくらい削減できたかというデータは出にくいかも



しませんが、「今までしていた事を、しなくてよくなった」という数は、確実に減らすことができました。

今後は、看護に関連するシステムをお互いが共有すること、それをどう使うか運用ルールを整備すること、改善してほしいことがないか現場の声に耳を傾ける事を継続していかなければならないと実感しています。

今回の業務改善は、みえ病院看護管理室の協力と推進力をお借りし、現場スタッフの皆さんや師長達の協力を得て進めることができました。戸惑わせてしまったことも多々あると思いますが、それでも皆が改善に取り組んでくれた事が、今後実を結ぶ結果となるよう、これからもみえ病院看護部と連携し、改善を続けていきたいと思えます。

システム課としての支援

帰巖会本部 システム課

主任 横尾和磨

看護部から寄せられた「このように表示したい」「こういう機能を使いたい」といった要望を受け、電子カルテベンダーへ確認しながら調整を進めました。電子カルテシステムの設定変更は予期せぬ箇所へ影響が及ぶ可能性があるため、影響範囲を確認しつつ慎重に作業を行い、その内容を看護部に確認いただく形で進めました。看護部が主体となって改善に取り組む中、私たちの作業は大きなものではありませんが、現場の改善が滞りなく進むようシステム面から支援しました。



左から、羽田野副看護部長、横尾システム課主任、柴田看護師

新任医師紹介

帰巖会みえ病院 外科部長

花井 はな

彰 あきら 医師

この度、みえ病院外科に着任しました花井彰と申します。豊後大野では初めて仕事をさせて頂きましたので山の景色は好きですが、ちよつと寄ってみた道の駅みえから見える江内戸の景の何か懐かしさを感じさせる美しい景色には癒されました。そこで紹介されていた沈墮と原尻、両滝も訪れて迫力に感動しました。

これまでの仕事について触れますと、消化器外科、特に手術、化学療法を含めた大腸癌治療に長く携わってきました。以前なら肛門も一緒に切除されていた肛門直ぐ近くの直腸癌に対して肛門を残す手術や腹腔鏡補助下大腸切除術などをやってきました。化学療法については、昔、大腸癌は抗癌剤が効かない癌とされていましたが、現在最も効果のある消化器癌のひとつになっています。色々な臓器に癌は起りますが、全ての癌を一括りにして癌だからと諦めないでも良い時代になってきたことを知って頂きたいと思えます。



人から人へ絆で繋がっていく



白杵市医師会立コスモス病院
院長 鈴木 浩輔 氏

2026年4月に白杵市医師会立コスモス病院の院長に就任されました鈴木院長にお話を伺いました。

【インタビュー】 2026年4月に院長に就任されましたが、就任時のお気持ちや当時考えておられたことをお聞かせください。

【鈴木院長】 私が初めてコスモス病院に勤務したのは2005年です。働きやすい環境に魅力を感じました。その後は他の病院で経験を積み、2013年から再び4年間勤務しました。2017年から5年半、大分大学病院で、胃がん・食道がん治療を専門に行い、2022年10月にコスモス病院に戻ってからは外科部長、2024年からは副院長を務めました。院長就任のお話には驚きもありましたが、今年はコスモス病院での勤務が通算10年目の節目でもあり、ご縁を感じています。

【インタビュー】 ご趣味や健康のために続けている習慣などがございましたらお聞かせください。

【鈴木院長】 自分の体と向き合う時間を大切にしたいと思い、当院赴任後にサイクリング（ロードバイク）を始めました。最初は白杵市内を散策する程度でしたが、今では大分市から白杵市まで自転車で通勤することもあります。休みの日には、気分転換を兼ねて阿蘇や高千穂まで足を延ばすこともあり、過去にツール・ド・佐伯に2回参加しました。現在は月間500kmの走行を目標にしており、健康維持と体力づくりのためにも継続したいと思っています。



【インタビュー】 コスモス病院の役割と力を入れている取り組みはございますか。

【鈴木院長】 コスモス病院はかかりつけ医の先生方と連携しながら診療を行う「紹介型病院」です。まずは身近な先生に相談していただき、専門的な検査や治療が必要な場合には当院へご紹介いただくという流れを大切にしています。また、救急医療についても消防機関と密接に連携し、迅速かつ適切な受け入れ体制の構築に努めています。さらに、地域医療連携ネットワーク「うすき石仏ねっと」を活用し、医療・介護・行政が連携しながら切れ目のない医療提供を目指しています。

【インタビュー】 地域の皆さまへメッセージをお願いいたします。

【鈴木院長】 地域の皆様が安心して過ごせるまちづくりに、医療の立場から貢献して行きたいと考えています。これからもコスモス病院をよろしく願います。

(インタビュー 白杵病院事務長 武田拓也)

令和8年度

たいじょうほうしん

带状疱疹予防接種のご案内

带状疱疹は、水ぼうそうのウイルスが再び働いて起こる皮膚の病気です。

治った後も痛みが残ることがあり、生活に影響を及ぼす場合があります。

【定期接種対象者】

- 令和8年度に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳を迎える方
- 令和8年度中に60～64歳を迎え、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害のある方

【接種期間】

令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

■ワクチンについて

ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数と間隔	1回	2回（2か月以上の間隔をあげる。2か月を超えた場合であっても6か月後までに接種）
持続期間	約7年	約10年
予防効果	50歳以上：約7割	50歳以上：約9割
	60歳以上：約5割	70歳以上：約9割

■自己負担

ワクチンの種類	生ワクチン	不活性化ワクチン
自費	7,000円	1回20,000円
市町村の補助がある場合	豊後大野市 3,000円	豊後大野市 1回7,000円
	大分市 3,500円	大分市 1回9,000円
	白杵市 3,500円	白杵市 1回8,500円
免除者	定期接種対象年齢の生活保護受給者は0円 接種時に「生活保護受給証明証」が必要です。	

※上記以外の市町村の方は病院窓口にお問い合わせください。

ワクチンの種類については、医師と相談の上接種をお願い致します。

豊後大野エリア

帰郷会みえ病院

〒879-7111 豊後大野市三重町赤嶺1250番地1
TEL: 0974-22-2222

介護老人保健施設 泉の里

〒879-7111 大分県豊後大野市三重町赤嶺1254番地1
TEL: 0974-22-7885

ケアホーム青いみちIKI本館

〒879-7111 大分県豊後大野市三重町赤嶺1259番地
TEL: 0974-26-4170

ケアホーム青いみち IKIおれんじ館

〒879-7111 大分県豊後大野市三重町赤嶺1259番地
TEL: 0974-22-0102

あさじ町クリニック

〒879-6222 大分県豊後大野市朝地町朝地906番地7
TEL: 0974-64-1234

清川巡回診療所

〒879-6903 大分県豊後大野市清川町砂田1877番地3
TEL: 0974-35-3561

白杵・大分エリア

白杵病院

〒875-0023 白杵市江無田1154番地1
TEL: 0972-83-8100

ケアホーム竹あかり

〒875-0023 白杵市江無田1154番地1
TEL: 0972-83-8110

大嶋医院

〒879-7501 大分市竹中2666番地
TEL: 097-597-0015